

日本線虫学会第5回大会プログラム

会 期： 1997年9月3日（水）～9月5日（木）

会 場 大会会場：北方圏センター

（道庁別館 12 階、札幌市中央区北 3 条西 7 丁目）

懇親会会場：KKR札幌（札幌市中央区北 4 条西 5 丁目 1）

日 程： 9月3日（水）

10：00～11：45 一般講演

12：45～13：45 総会

13：45～15：35 シンポジウム

15：45～17：00 一般講演

18：00～20：00 懇親会

9月4日（木）

9：30～11：45 一般講演

13：00～18：00 一般講演

18：10～19：30 小集会

9月5日（金）

8：30～17：00 エクスカーション

「後志地方のジャガイモシストセンチュウ問題－現地見学」

大会事務局：農林水産省 北海道農業試験場 線虫研究室

〒062 札幌市豊平区羊ヶ丘 1

電話：011-857-9247 FAX：011-859-2178

〔講演者の方へのお知らせ〕

一般講演の講演時間は、一課題当たり 15 分（予鈴 10 分、2 鈴 12 分、終鈴 15 分）です。講演者多数のため、時間厳守お願いします。

本大会の一般講演の講演要旨は、会誌第 27 巻 2 号に登載する予定となっております。要旨の修正が必要な場合は、9 月末日までに農業環境技術研究所線虫・小動物研究室（〒305 茨城県つくば市観音台 3-1-1、FAX：0298-38-8199、e-mail：arachis@niaes.affrc.go.jp）宛に修正した要旨をお送り下さい。

講演プログラム

9月3日(水)

〔一般講演〕 10:00~11:45

(座長 相原孝雄)

- 10:00 101 皆川 望(農研センター):キタネコブセンチュウおよびキタネグサレセンチュウの分離効率に及ぼすベルマンロート法の分離条件の検討.
- 10:15 102 寺本 健(長崎総農林試):長崎県におけるジャガイモシストセンチュウの発生生態 2. ジャガイモ畑における年間発生消長.
- 10:30 103 清水 啓・大塚寛治(農研センター):不耕起ダイズ栽培圃場におけるダイズシストセンチュウの発生消長.

(座長 皆川 望)

- 10:45 104 百田洋二・串田篤彦・植原健人(北海道農試):ダイズシストセンチュウ産卵の特性.
- 11:00 105 相場 聡(北海道農試畑作センター):温度変化によるダイズシストセンチュウのふ化率の違い.
- 11:15 106 松尾和之・山本泰由・辻 博之・臼木一英(農研センター):乾燥牛糞抽出物がダイズシストセンチュウの孵化に及ぼす影響.
- 11:30 107 Djiwanti, S. R., K. Sugawara, N. Kondo, K. Kobayashi and A. Ogoshi (Hokkaido University) Influence of the Soybean Cyst Nematode (*Heterodera glycines*) on the Incidence of Brown Stem Rot in Adzuki Bean Cultivars.

(休憩 昼食 11:45~12:45)

12:45~13:15 総 会

〔シンポジウム〕 13:15~15:45

(座長・真宮靖治・清水 啓)

「北の国の線虫問題—対策と展望」

- 13:15 S1 水越 亨(道立道南農試):北海道の施設に発生するサツマイモネコブセンチュウ.
- 13:45 S2 串田篤彦(北海道農試):ジャガイモシストセンチュウのその後—道内地域の現状と今後の対策—.

- 14:15 討論
- 14:25 S3 山田英一（雪印種苗（株）中央研究農場）：対抗植物による線虫防除。
- 14:55 S4 福澤晃夫（北海道東海大工）：植物由来のシストセンチュウに対する生理活性物質と生態的防除。

15:25 討論：（会合販路支那産品自然農法MOA全国）恵一誠・車 浩國 80S 00:01

13:45 214 吉田陸浩（農研研）（休憩 15:35～15:45）（時8第）大塚の（Insecta: Acrididae）数種に見られたシヘンチュウ類（Nematoda: Mermithidae）に

〔一般講演〕 15:45～17:00

- （座長 中園和年）
- 15:45 108 佐野善一（九州農試）：*Pasteuria penetrans* のサツマイモネコブセンチュウへの付着効率に及ぼす土壌水分の影響。
- 16:00 109 村上尚子（佐賀大農）・奈良部 孝（農研センター）：野外から分離した *Pasteuria penetrans* 13 分離株のネコブセンチュウ個体群への付着特性。
- 16:15 110 奈良部 孝（農研センター）・村上尚子（佐賀大農）・川田弘志（㈱ネマテック）：天敵細菌 *Pasteuria penetrans* と宿主ネコブセンチュウの相互作用による付着特性の変化。

（座長 西澤 務）

- 16:30 111 立石 靖（九州農試）：*Pasteuria penetrans* を活用した栽培体系によるサツマイモネコブセンチュウ害抑制 I. ネコブセンチュウ抵抗性程度の異なるサツマイモ品種における *P. penetrans* 施用当年の効果。
- 16:45 112 三平東作・福田 寛（千葉農試）：施設トマト・キュウリ栽培における *Pasteuria penetrans* のサツマイモネコブセンチュウ防除効果。

18:00～20:00 懇 親 会

9月4日（木）の病原性を喪失（80S1～80S11 食量 腹材）

〔一般講演〕 9:30～18:00

（座長 高倉重義）

- 9:30 201 谷口祐代・平野三記夫・三浦伸章（MOA自然農法大学校）・柿崎一恵（全国MOA自然農法産地支部連合会）・小林義明（元静岡農試）：MOA自然農法圃場における土壌線虫の発生経過と解析 I. 調査初期のネコブセンチュウ

ユウの発生状況.

講演プログラム

第1日 21:41

9:45 202 柿崎一恵・阿部 卓 (全国MOA自然農法産地支部連合会) : 自然農法におけるトマト栽培圃場におけるネコブセンチュウ害に対するギニアグラスの抑制効果.

10:00 203 阿部 卓・柿崎一恵 (全国MOA自然農法産地支部連合会) : 自然農法におけるイチゴの *Pratylenchus vulnus* による被害発生とマリーゴールド導入の試み (第3報).

(座長 佐野善一)

10:15 204 小林義明 (アグロ・カネショウ㈱東海支店)・鈴木守之 (伊豆の国農協)・前島慎一郎 (静岡県中部農林事務所) : バスアミド微粒剤と陽熱処理の併用によるイチゴ、ナスの線虫類、土壌病害に対する効果.

10:30 205 北上 達 (三重農技センター) : 水稻用育苗器を利用した加温・加湿処理によるヤマノイモ種芋寄生ネコブセンチュウ類に対する防除効果.

10:45 206 北島美津子・山田英一・橋爪 健・高橋 穰 (雪印種苗)・塩谷哲夫 (東京農工大) : サツマイモネコブセンチュウ抵抗性の緑肥用ソルガムの開発 (その寄生反応と品種間差異について).

(座長 平田賢司)

11:00 207 荒城雅昭 (農環研) : 本邦産ネコブセンチュウの第2期幼虫による同定と画像解析による第2期幼虫尾部形態の数値化.

11:15 208 樋田幸夫 (元国際農研)・八重樫隆志 (明治大農)・ソムクワン キーリーワン・ヌチャナート タングチトソムキド (タイ農業局) : タイのクワから採集されたネコブセンチュウ未記載種.

11:30 209 中園和年・アブディナ・上田憲一 (農整公団) : 南カリマンタンのチガヤ草原移住地農家圃場における植物寄生性線虫.

【シンポジウム】 13:15~15:45

(座長 真宮靖治・清水 啓) (休憩 昼食 11:45~12:45)

「北の国の線虫問題—対策と展望」

00:81~08:00 [第1部]

(座長 石橋信義)

12:45 210 草野敬久・市川洋子・梅原 愛・榎木祥江 (県立広島女子大)・富樫一巳 (広島大) : 環境指標生物としての線虫の研究.

13:00 211 二井一禎 (京都大農) : 毛烏素沙地の土壌線虫密度.

- 13:15 212 鬼頭研二(札幌医大医)・大山佳邦(国立極地研):南極産 *Plectus* 属線虫類の種構成と分布、および分類・同定にともなう問題点について.
- 13:30 213 浅川満彦(酪農大獣):日本列島産野ネズミ類の寄生線虫類:その分類および生活史.
- (座長 荒城雅昭)
- 13:45 214 吉田睦浩(農環研)・伊藤 元(北海道大農):北海道産バッタ類(Insecta: Acrididae) 数種に見られたシヘンチュウ類(Nematoda: Mermithidae) について.
- 14:00 215 伊藤賢治(農研センター)・山中 聡(SDSバイオテック):昆虫病原線虫の種間、系統間での寄主探索行動の変異.
- 14:15 216 田辺博司・山中 聡(SDSバイオ・つくば研)・吉田睦浩(農環研):宮崎県より分離された *Steinernema* 属昆虫病原性線虫およびその共生細菌の生物学的特徴.
- 14:30 217 額爾敦巴雅爾・近藤栄造・石橋信義(佐賀大農):*Steinernema* 属昆虫病原性線虫3種の運動性、行動、および生存に及ぼす湿度の影響.
- 14:45 218 石橋信義・王 小冬・近藤栄造(佐賀大農):Steinernematidae 科昆虫病原性線虫の感染戦略.
- (座長 二井一禎)
- 15:00 219 ブニ アミン・石橋信義(佐賀大農):九州産アフエレンクス・アヴェエネの寄生糸状菌選好性、温度選好性等についての2、3の知見.
- 15:15 220 皿本将隆・石橋信義(佐賀大農):アフエレンクス・アヴェエネの人工培地に関する基礎研究.
- 15:30 221 近藤知弥・石橋信義(佐賀大農) 菌食性線虫アフエレンクス・アヴェエネの乾燥保存.
- 15:45 222 河津一儀・金子 昇(岡山大農):マツノザイセンチュウは無菌化するとその病原性を喪失する.
- 16:00 223 真宮靖治(玉川大農):ヒラタケの線虫捕食効果—マツノザイセンチュウに対して.

(座長 吉田睦浩)

- 16:15 224 酒井淳一・花田 薫・水久保隆之(九州農試):ミナミネグサレセンチュウ

13:15 215 個体群間の rDNA-ITS 領域の塩基配列の比較.

16:30 225 水久保隆之 (九州農試)・大類幸夫 (JT 葉たばこ研) : ミナミネグサレセンチュウの個体群間の生殖的隔離.

16:45 226 植原健人・串田篤彦 (北海道農試)・水久保隆之 (九州農試)・百田洋二 (北海道農試) : ネグサレセンチュウ 3 種同定のための種特異的プライマーの作製.

(座長 水久保隆之)

17:00 227 大類幸夫 (JT 葉たばこ研) : PCR-RFLP 解析による日本産のジャガイモシストセンチュウおよび 4 種の *Heterodera* 属のシストセンチュウの識別.

17:15 228 串田篤彦・植原健人・百田洋二 (北海道農試) : rDNA の ITS 1 領域の塩基配列に基づくジャガイモシストセンチュウ各地域個体群間差異.

17:30 229 平田賢司 (横浜植防)・吉田睦浩 (農環研) : 日本産 *Xiphinema americanum* グループ 2 種の形態及び rDNA の ITS 領域における RFLP パターンの比較.

17:45 230 岩堀英晶・神崎菜摘・二井一禎 (京都大農) リボゾーム DNA/ITS 領域の塩基配列決定による *Bursaphelenchus xylophilus* および *B. mucronatus* のアイソレイト比較.

[小集会] 18:10~19:30

(世話人 百田洋二)

18:10 E1 西澤 務 (日植防牛久研) : ブラジルにおける最近の線虫事情—ダイズシストセンチュウを中心として—.

18:55 E2 清水 啓 (農研センター)・相場 聡 (北海道農試) : 中国吉林省におけるダイズシストセンチュウ問題.

9月5日 (金)

8:30~17:00 エクスカーション

「発見 25 年—後志地方のジャガイモシストセンチュウ問題 (現地見学)」

8:30 北海道庁旧庁舎前 発

10:30 中山峠經由 留寿都村(道立中央農試現地試験圃場)着、兼平主任研究員及び普及センター担当者による説明、昼食、現地見学。

16:00 新千歳空港着

17:00 J R札幌駅 解散